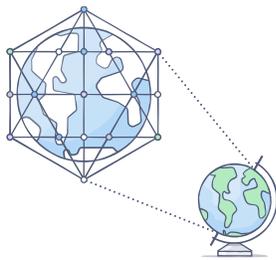


多くの企業が OneDrive for Business ではなく Dropbox Business を選ぶ理由

Microsoft Office は、世界中でファイル作成に使用されているソリューションです。

そのファイルの世界一の保存先なのが Dropbox。Dropbox に同期、保存される Office ファイルは 350 億以上にものぼります。

Microsoft にも OneDrive という自社ソリューションがある中で、世界の 400 万を超えるチームが Dropbox を選んでいるのです。



✔ 新しいワークスペースに最適

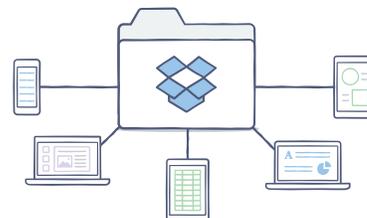
Dropbox は社員が時間や場所、デバイスに縛られることなく簡単にアクセス、編集できるように開発されました。一方、OneDrive for Business はウェブ上でファイルを保管するためだけに開発されています。

- OneDrive for Business を使用する場合、外部との共有はフォルダではなく個々のファイルへのリンクのみに限られてしまいます。
- デスクトップクライアントでのオフラインストレージは OneDrive for Business の場合 2 万ファイルまでです。

✔ どんな環境にも対応

Dropbox Business はすべてのデバイスや OS で同じように利用できるため、チームが使い慣れたツールを使い続けながらワークフローを強化し、生産性を向上します。

- OneDrive for Business は PDF、JPEG、Office 以外のファイルプレビューに対応していません。
- OneDrive for Business の Mac 版デスクトップクライアントはベータ版のため、共有機能は非常に限られています。



✔ 使いやすさはそのままにセキュリティを強化

Dropbox は世界で 5 億人のユーザーがいるので、社内にもユーザーがいると考えられます。これはつまり、社内導入する際もすでに使い慣れている社員が多く、IT 部門への問い合わせが少なく済むので導入の負荷が少ないということです。

- OneDrive for Business では誤って削除してしまったファイルの一括復元はできません。
- 管理者がワンステップで行えるアカウント移行や遠隔削除は OneDrive for Business にはなく、アクティブ状態のウェブセッションを終了することもできません。